

エコ・あぐり・Town くねっぴ 応援団だより

平成28年 2月29日発行 NO.42

訓子府町の「ふるさと応援団」に参加いただき、ありがとうございます。
みなさまと訓子府町を結ぶ便りにできればと考えております。

十勝オホーツク自動車道 訓子府IC～北見西IC間開通

十勝オホーツク自動車道の訓子府IC（インターチェンジ）から北見西IC間（12km）が、平成27年11月8日に開通しました。

開通に先立ち、開通式典や雪の降る中でのウォーキングイベントなどが行われました。

開通式典の後には、訓子府ICで通り初め式が行われ、テープカットの後、ウォーキングイベント参加者など約500人が見送る中、観光バスや輸送用トラックなどによる走り初めが行われました。

参加者の皆さんからは、「開通後は通院や買物などが便利になる」と、「暮らしの道」として大きな期待が寄せられていました。



訓子府町開基120年事業スタート 北海道日本ハムファイターズ・春季沖縄名護キャンプを訪問 訓子府町応援大使・矢野謙次選手と谷口雄也選手へ玉ねぎとスノーマーチ1トンを届けました

開基120年事業町民アンケートで最も希望が多かったのは「町民運動会」復活と道民球団「北海道日本ハムファイターズ」との野球教室や講演会等による交流でした。この度私どもの熱い要請を受けてファイターズは2名の訓子府町応援大使を決めてくれました。

2月19日午前8時30分、桜の花が満開の名護市民球場に本町のPRを兼ねて、表敬訪問いたしました。球場の周りには全国から集まったファンが長蛇の列、お目当ての選手が通る度に多くのシャッター音が聞こえてきます。同じく表敬訪問に来ていた飯田晴義幕別町長と共に来賓室へ入ると、早速矢野、谷口両選手がやってきて「一年間よろしくお願いします」の挨拶と共に固い握手を交わしました。引き続き大勢のファンと報道関係者に囲まれながら挨拶を求められ「訓子府町は明治30年坂本直寛をリーダーとする北光社移民団が開拓の鋤を打ち下ろしてから120年の記念の年を迎えました。町民の多くが北海道日本ハムファイターズとの交流を望み、日本一の生産地である本町より、玉ねぎとジャガイモ・スノーマーチ各1トンを町民からのプレゼントとして持参しました。ぜひ、日本一奪還に向けて頑張っ

てください。」と両選手にメッセージを送りました。

矢野、谷口両選手からは「訓子府の皆さんには最高の報告ができるように頑張ります！」と力強い決意表明がありました。その後、竹田憲宗(株)北海道日本ハムファイターズ代表取締役社長と懇談し訓子府町開基120年への応援と来町を強く要請させていただきました。



北海道常呂郡訓子府町東町398番地 訓子府町役場企画財政課
Tel 0157-47-2115 Fax 0157-47-2600
E-mail kikaku@town.kunneppu.hokkaido.jp
URL <http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/>

町長's Eye



高知県物産展 津野町コーナーにぎわう ミス高知らも参加



左・来庁しインタビューに答える
中村さんと岩崎
弥太郎さん

右・物産展で接客
する前田さん



高知県の観光と物産展が1月13日から18日まで北見市で開かれました。姉妹町の高知県・津野町からも多数の特産品が販売され、にぎわいました。

「姉妹都市コーナー」に津野町産のしょうがやさつまいも、里いも、煎茶、鶏卵の「土佐ジロー」などのほか、津野町で作られるほうじ茶を使った「満天の星」大福が販売されました。

訓子府町の職員のほか、昨年まで職員人事交流で本町に赴任していた津野町産業建設課の前田綾子さんや企画調整課の中山公裕さん、(有)ふるさとセンターの下元忠司さんも販売員となって、津野特産品を来場者に販売しました。

また、この物産展に参加した「ミス高知」の中村有希さんと土佐おもてなし勤王党の「岩崎弥太郎」さんらが、1月12日に本町を訪れ、「物産展を楽しんでいます」などと話していました。

ファイターズ稲葉さん来町

昨年11月27日、28日にプロ野球、北海道日本ハムファイターズSCO（スポーツ・コミュニティ・オフィサー）の稲葉篤紀さんが「A1プロジェクト」の一環で、開基120年記念事業のイベントとして町に訪れました。

A1プロジェクトとは、稲葉さんが彼自身を応援、そして育ててくれた第二の故郷である北海道への恩返しのために、何ができるかを考え、実践してゆく社会貢献、地域還元プロジェクトです。

27日は、訓子府中学校や居武士小学校に学校訪問。訓中では質問コーナー、記念撮影、居小ではドッチボールなどを通し、児童・生徒たちは稲葉さんとの交流を楽しみました。

28日には、スポーツセンターで野球教室を開催し、訓子府KL球友と留辺蘂町の野球少年団の球児、合わせて39人が指導を受けました。野球教室では、キャッチボールやバッティング練習などが行われ、わかりやすいアドバイス受けながら、球児たちは貴重な体験をしました。



平成28年訓子府町成人式が1月10日に公民館で行われました。男性19人、女性20人のあわせて39人が出席し、多くの方の祝福を受けました。

この日は、天候に恵まれ、新成人がスーツや振り袖などに身を包み会場入り。

式典では、町民憲章を朗唱したあと、新成人を代表して伊藤舞さんに記念品が贈呈され、城地翼さんが「社会人としての自覚をもち、成長していきます」と誓いの言葉を述べました。

成人式

応援団トピック

オホーツク玉入れ大会

訓子府座 公演2回目も大成功



昨年12月23日に、劇団『訓子府座』の公演が開かれました。

訓子府座は一昨年、訓子府町や北見市、大空町など二十代から三十代の男女が中心となって、立ち上げられました。

会場には観客ら約250人が訪れ、今回で2回目となる公演を楽しんでいました。

座長の林亜佐子さんは「1回目の公演より出演者が多い中、みんなで意見やアイデアを出し合って試行錯誤しながら取り組んできたからこそ、今回の舞台ができたと思います。衣装制作などたくさんの人が協力、応援してくれたから本番を迎えることができました。感謝の気持ちでいっぱいです」と話していました。

平成27年度訓子府町功労者等顕彰式開催

平成27年度訓子府町功労者等顕彰式を11月3日、町公民館で行いました。

顕彰条例による功労表彰が田村博美さん（産業功労東町）ら2個人、善行表彰が3個人。さらに町教育委員会の文化・スポーツ奨励賞が4個人・4団体。いずれもそれぞれの分野で活躍あるいは町勢発展のために尽力されました。

受賞者は、菊池町長や飯田教育委員長から一人ずつ表彰盾や表彰状、メダルなどを受け、会場に訪れた関係者らから祝福の大きな拍手を受けていました。



第14回オホーツク玉入れ選手権大会が2月14日スポーツセンターで開かれ、訓子府町内をはじめ北見市、置戸町などからジュニア3チーム、一般19チームが参加しました。

身長よりはるかに高いバスケットをめがけ、1チーム4人から6人の選手が100個の玉を投げ入れる速さを競い、会場内は熱気に包まれました。

一般の部では「TKCS」（置戸町）、また、ジュニアの部では「上ところ銀河」（北見市）がそれぞれ優勝しました。訓子府町のチームでは一般で「ファットJAPAN」が5位、ジュニアの部で「KL球友」が3位に入りました。



ふるさとおいしいやり寄付制度 謝礼品贈呈開始

平成27年11月9日よりふるさとおいしいやり寄付に対して謝礼品の贈呈を開始しました。開始から4ヵ月ほど経ち、現在約2,800万円もの寄付が集まっております。寄付者の皆さまから支持されている謝礼品をいくつか紹介いたします。



訓子府産 牛ロース ステーキ用 200g×2

訓子府町にある「ホクレン畜産技術実証センター」で肥育されたホルスタインです。脂身が少なくヘルシーなお肉で赤身肉の美味しさを堪能できます。1ヶ月10セット限定で毎月即時品切れとなる人気謝礼品です。町内業者特製の木箱に入れてお届けいたします。



高知県津野町からの贈り物

姉妹町である高知県津野町から、TVでも紹介されたことのある、特産のほうじ茶を使った満天の星大福をはじめ、ロールケーキやアイスクリームなどをご用意しております。ほうじ茶の香ばしい香りが味わえ、甘いものが苦手な方でも召し上がれるとご好評いただいております。

また、津野町で育った和牛である、津野山牛のロースステーキ、カルビ、赤身のセットもございまして、黒毛和牛の旨みを十二分に堪能できると大変人気となっております。



太田醸造

糀の甘みがよくわかるとご好評の、おなじみすずらんみそを中心に、くせのない濃口のコトブキ醤油、お手頃に美味しい漬物が作れるたくあん漬けのもと、三五八漬けのもと、現在四種類の謝礼品を様々な組み合わせでをご用意しております。特にすずらんみそ 1.5kgのセットが大変人気となっております。



他にも様々な謝礼品をご用意しております。謝礼品のカタログもご用意しておりますので、送付を希望される方は企画財政課までご連絡ください。また、謝礼品は随時追加しており、ふるぽというホームページでご確認いただけますので、ぜひ一度ご覧ください。

URL. <http://furu-po.com/kunneppu/> ふるぽ 訓子府町ページ

E-mail. kikaku@town.kunneppu.hokkaido.jp

Tel.0157-47-2115 Fax.0157-47-2600